

【災害に応じた対応を理解する】

## 【風水害等編】洪水について

篠栗町では、町の東西に流れる2級河川の多々良川があり、大雨の際は多々良川が氾濫する危険に加え、流れ込む支流などが溢れ、内水氾濫が発生する可能性もあります。



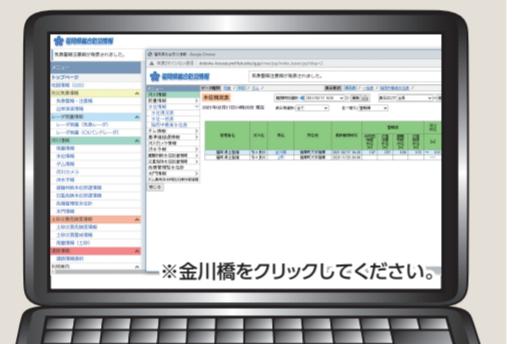
### ●避難情報の発令基準

篠栗町を流れる多々良川の水位計は上町区の県道92号に架かる「金川橋」に設置されています。 「金川橋」の水位を基に警戒レベルの発令などを行っています。



金川橋の水位情報や雨量、監視カメラの様子は、「福岡県 総合防災情報 河川情報」のページで確認できます。

福岡県 総合防災情報 河川情報 [検索](#)



※金川橋をクリックしてください。

### ●川の氾濫(内水氾濫・外水氾濫)

内水氾濫が発生した際は、車や歩きでの避難は危険です。外水氾濫(多々良川)による浸水深は、マップページに色分けして掲載していますので、想定浸水深が深い地域では、早めの立ち退き避難を検討してください。

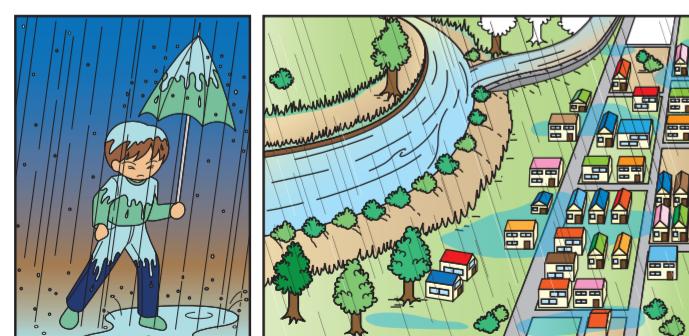
#### 内水氾濫

雨の量が下水道や道路側溝などの排水施設の能力を超えたとき、河川の水位が高くなつたとき、雨水を排水できずに、マンホールや側溝から水があふれ出し、浸水することがあります。

#### 外水氾濫

大雨によって河川の水位が高くなると、堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊し、家屋が倒壊する危険があります。

#### 内水氾濫の発生



非常に激しい雨が降る...  
雨水が下水道や道路側溝などで排水できずに溜まります。

#### 外水氾濫(洪水)の発生



さらに雨が降り続くと、大きな河川の水位が上昇し、中小河川の排水が難しくなりあふれ出す恐れがあります。  
堤防が決壊すると、大きな被害が発生します。

### ●大雨(洪水)時の避難行動を考えよう

あなたの自宅はどこにありますか?

浸水想定区域にある。

いいえ

はい

家屋倒壊等氾濫想定区域にある。

いいえ

はい

想定される浸水の深さが自宅の最上階の床の高さを上回る。

※木造家屋でのおおよその目安

3m以上で2階の床まで浸水  
5m以上で2階の天井まで浸水

いいえ

#### とるべき避難行動

##### ■室内待機(避難準備)

テレビなどで最新の情報を入手し、状況に注意しましょう。  
※内水による浸水や土砂災害などの危険がある場合は避難を検討。



##### ■立ち退き避難(水平避難)

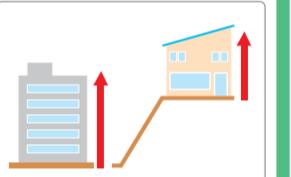
災害が発生する前に安全な場所に避難しましょう。  
※避難先等については、5P・6Pをご参照ください。



##### ■屋内安全確保(垂直避難)

浸水のおそれがない上層階など屋内の安全な場所に避難しましょう。

※避難が遅れるなどで、立ち退き避難が困難な場合は、近くの高い建物や自宅の一番高い場所に垂直避難しましょう。



### ●避難のポイント

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。自宅や自宅周辺の状況、そのときの降雨や浸水状況などに応じて、危険が迫る前に早めに避難しましょう。

#### ●積極的な情報収集

台風や大雨のおそれがある時は、テレビやラジオ、防災メール、インターネット等で情報を収集しましょう。

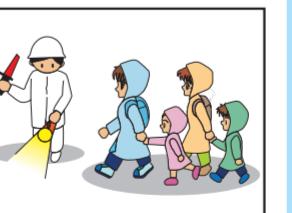
危険が迫った時は、町が警戒レベルとともに、避難を呼びかけます。



#### ●避難情報等に注意し、早めの避難を

避難するときは、非常持出袋を持ち、動きやすい服装、スニーカー等、脱げない靴で2人以上の行動を心掛けましょう。

避難の際には、川や橋には近づかない。また、側溝やマンホールに注意しましょう。



#### お年寄りや障がいのある方の避難の手助けを

##### ●情報が届きにくい方へ危険を知らせる

目や耳が不自由で情報の取りにくい方、インターネットなどの情報がとれない方は、ご近所や日頃の支援者などに様子をたずねてみましょう。



#### ●屋外に出るのが危険な場合は「屋内待機」

周辺が浸水し、屋外に出るのが危険な場合は、近くの高い建物や自宅の2階以上に避難し、屋内で安全を確保しましょう。



#### ●家屋倒壊等氾濫想定区域は早期立退き避難が必要

家屋が倒壊するような氾濫流や河岸侵食のおそれがあるときは、屋内待機は危険です。早めに避難場所などの安全な場所に避難しましょう。

